

平成28年 2月 5日

井原市議会議長

上野安是様

井原市議会議員

上野安是

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

|                                            |                               |
|--------------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 実施期間                                    | 平成28年1月22日(金)～平成28年1月23日(土)   |
| 2. 研修会等の開催地<br>または視察、要請・<br>陳情活動先          | 博多区博多駅東1丁目16-14<br>リファレンス駅東ビル |
| 3. 研修会等の名称<br>または視察、要請・<br>陳情活動内容          | 議員カアップ講座 in 博多                |
| 4. 研修会等の講師名<br>または視察、要請・<br>陳情活動先の担当者<br>名 | 川本達志氏 (元甘日市市副市長)              |
| 5. 活動内容                                    | 別添のとおり                        |

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。

## 地方版総合戦略と人口ビジョンへの質問のポイント

- 〇 仕事をつくり、雇用をうみ、人の流れをつくり、子供を産んで育てる。この流れをどのようにつくるのか が 戦略。
- 〇 富山県、氷見市の「人口ビジョンと総合戦略」冒頭の「ライフステージごとの人口移動」の図は 大切に 参考 になった。(次頁に写し)

## 財政比較分析であなたの自治体をチェック

|                    | 井原市は、    | 甘日市市は、   |
|--------------------|----------|----------|
| 市町村類型              | I-0      | Ⅲ-1      |
| 平成25年度 財政力指数       | 0.40     | 0.66     |
| 経常収支比率             | 89.4 %   | 95.9 %   |
| 人口1人あたり<br>人件費・物産費 | 111,621円 | 129,818円 |
| 人口千人あたり職員数         | 7.57人    | 8.26人    |
| 将来負担比率             | —        | 64.1 %   |

- ・ 情報を しっかり 分析 する 必要 あり。
- ・ 将来に 負担を 残すことのない 施策 (統合、機能集約) が 求めらる。
- ・ プライマリー バランス = 地方債のコントロール を しっかり 考える。

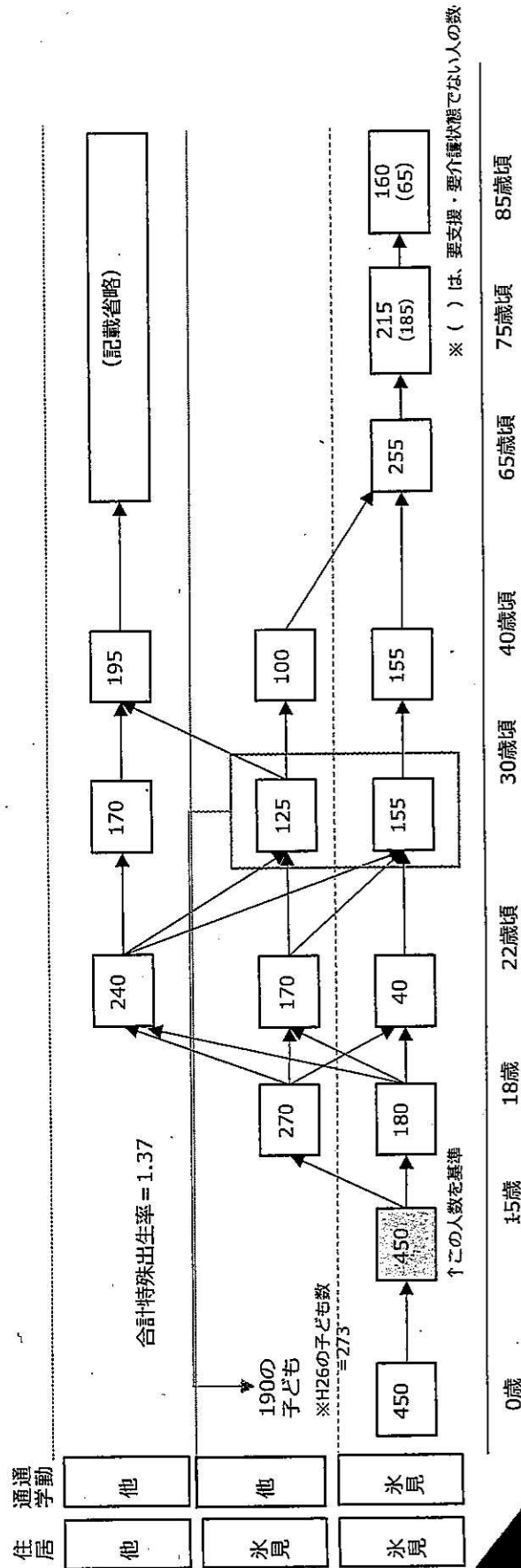
- ・ 市の目標と 県の目標が どのように リンク するのか。また、  
やがて 町で 資金循環 できる 仕組みを どう つくるのか。  
これから しっかり 考えて いかなければ ならない。

# 【現状】氷見市の「ライフステージごとの人口移動」 氷見市の中学生が卒業後に、どこに居住・通勤通学をするか？

- 「2. 将来展望に必要な調査・分析」の各種統計等より、氷見市の中学生が卒業後、ライフステージごとに、どこに居住・通勤通学をするかについてまとめました。この流れを把握することによって、ライフステージに応じた人口減少対策を考えることができようになります。
- 詳細な説明は「（参考2）ライフステージごとの人口移動と「氷見市15の観点」」に記載しています。

## ライフステージごとの人口移動

※450人（平成23年度～平成26年度に氷見市内の中学校を卒業する人数）を基準とした（※単位：人）



※氷見市教育委員会資料（平成23年度～平成26年度の中学校卒業生の進路）、resas『富山県氷見市 年齢階級別人口移動数の時系列分析』、S55～H22年国勢調査、とやま統計ワールド経由で取得した「平成11年富山県の人口」および「平成26年富山県の人口」、H25～H27/10～ワーク氷見の資料、resas経由で取得した『人口動態調査』、公益財団法人 生命健康文化センター資料（元データは厚生労働省「介護給付費実態調査月報（平成26年7月）」 総務省「人口推計月報（平成26年7月）」）、国立社会保障・人口問題研究所の氷見市の生残率、住民基本台帳のH26出生数をベースとしてヒアリング等を踏まえて推計を実施。数値については、一桁目を5か0とするレベルでの整理を実施。